



今月の主な内容

- 町総合計画の後期計画を策定... 2~3
- ユイコのケアドー事業始まる... 4
- チャレンジデーに6千人参加... 6
- 軽米雁舞館が全国大会へ出場... 9

農村景観の形成から貯水、地球環境の保全まで、さまざまな役割を果たす森林。緑はまた、わたしたちに心の安らぎと潤いも与えてくれます。23回目を迎えたグリーンデーには、毎年たくさんのボランティアと自然愛護少年団が参加。木々や森の大切さを改めて感じていました。

(写真は、5月27日にハートフル・スポーツランドで行われたグリーンデー植樹で、ツツジの苗木を植える観音林小自然愛護少年団の子どもたち)

町総合発展計画の後期基本計画がスタートしました

住民参加のまちづくりで
自主性と個性あふれる地域社会をめざします



町の施策は、町づくりの基本計画である軽米町総合発展計画に基づき、各種事業が行われています。昨年度までは、平成十二年度に策定した「いきいきかるまい21プラン」の前期基本計画により町づくりを進めてきたところですが、計画期間の終了に伴って見直しを行い、後期基本計画を策定しました。後期計画の概要について紹介します。

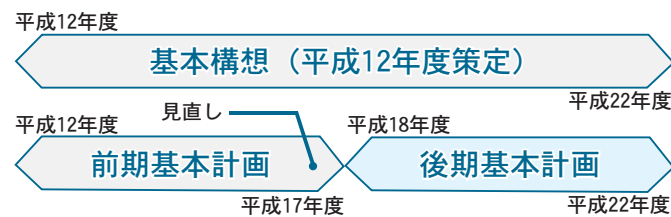
【まちの将来像】花と緑があふれ 人が輝く ふれあいと 健康文化の町



後期基本計画は、町総合発展計画の基本理念である「町民と共に考え、創意工夫を活かしたまちづくり」の実現のため、町が行う行政運営に町民の皆さんからも参加いただき、皆さんの意思が反映される「住民参画・協働のまちづくり」の確立を目指した計画となっております。

地方交付税の削減など本町の行財政運営は、今後も一層、厳しさが増すことが予想されますが、地域の個性と活力・魅力に満ちた地域社会を構築するため、町は行財政改革に努め、地域住民の皆さん

●基本構想と基本計画



●後期基本計画の8つの主な課題

過疎対策の充実	高齢者福祉対策の充実	少子化対策の充実	雑穀の振興	内発型の産業育成	住民自治・協働のまちづくりの推進	地域間交流の促進	高度情報化社会の構築
---------	------------	----------	-------	----------	------------------	----------	------------

●課題解決に向けた柱となる6つの施策と項目

- ①自然と共生し美しい景観の町づくり
 - (1) 人と自然との共生
 - (2) 美しい景観の形成
- ②安全で快適な町づくり
 - (1) 安全な生活の確保
 - (2) 居住環境の整備
 - (3) 環境保全対策の推進
 - (4) 土地・水資源対策の推進
 - (5) 交通・通信対策の推進
 - (6) 市街地の整備
- ③健康で安心して暮らせる町づくり
 - (1) 保健・医療の充実
 - (2) 福祉の充実
 - (3) 社会参加の促進
- ④働きがいのある産業が展開する町づくり
 - (1) 農業の振興
 - (2) 林業の振興
 - (3) 商業の振興
 - (4) 工業の振興
 - (5) 観光業の振興
 - (6) 新たな地域産業の起業化、育成
 - (7) 雇用の拡大
- ⑤個性を生かし創造性にあふれた町づくり
 - (1) 生涯学習の推進
 - (2) 生涯スポーツの振興
 - (3) 教育の充実
 - (4) 地域文化の振興
 - (5) 魅力的なコミュニティの形成
 - (6) 交流事業の推進
- ⑥共に創る町づくり
 - (1) 開かれた町政の推進
 - (2) 新たな行財政システムの確立

からは自主的に、楽しみながら地域づくりに取り組んでいただくことが必要と考えています。町づくりに向けた各種事業へ多くの皆さんからの参画や、意見などをいただきながら進めていきます。

そこで今後五年間に取り組むべき課題として、八つの項目を設定しました。前期計画の達成度の評価や、国や町の社会・経済情勢を踏まえたもので、特に重点的に解決しなければならぬものとして

位置づけています。これらの課題を解決し、町の将来像を実現させる方策として、六項目の施策の柱を設定し、項目ごとに施策の展開を図りながら全体計画の実現を図ることとしています。

介護の予防・相談を広く支援

地域包括支援センターにご相談ください

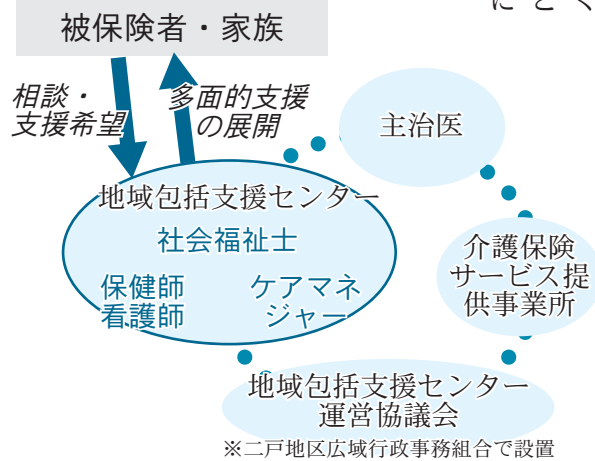
【問い合わせ先】 x4 6 - 4 1 1 1
(健康ふれあいセンター内)

介護保険法の見直しにより、平成十八年四月から「地域包括支援センター」が健康ふれあいセンター内に設置されました。介護状態にならないための介護予防と、できるだけ日常生活を自宅で過ごせるよう、総合的な相談に応じ

ています。同センターでは、保健師または看護師、社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）が一つのチームとなって、介護予防の計画づくりや本人とご家族の悩みなどを聞く相談業務や、その人に合った支援を行っています。お気軽にご相談ください。



地域包括支援センター職員
【左から】内城良子主任看護師、
島山貞子保健師長、
下谷地由美子看護師



地域包括支援センターの主な業務

- ◎介護予防事業のマネジメント
- ◎高齢者や家族への総合的な相談・支援（介護保険外サービスを含む）
- ◎被保険者への虐待などの防止と早期発見（権利擁護事業）
- ◎支援が困難なケースなどケアマネジャーとの連携

【今回協力いただく事業所】

（株）岩手富士、(有)アイオーテック、（株）アイソニック軽米事業所、大黒醤油（株）、軽米フェニックスカントリークラブ、JA北いわて軽米支所、県農業研究センター 県北農業研究所、県北家畜保健衛生所、高常自動車工業（株）、(有)ミツワ自動車販売、阿部農機（株）、たけさわストア、（株）三光ストア、ローソン岩手軽米店、（株）コメリ、(有)瀧村屋、羽柴畜産（有）、姫ヶ森牧場、郵便局、保育園・児童館、役場、いちい荘、健康ふれあいセンター、太陽荘、太陽の里、ミレットパーク、ミル・みるハウス、フォリストパーク、物産交流館（以上町内）、NPO法人三の丸ひまわり（二戸市）

中学2年生が町内事業所で職業体験する キャリア・スタート・ウィーク (7月31日から8月4日)が実施されます

町内のスーパーや工場、福祉施設などのご協力で実際に仕事をを行います。皆さんからの応援、ご協力をお願いします。

町教育委員会では、文部科学省の指定を受けて、町内中学生による職業体験学習「キャリア・スタート・ウィーク」を実施します。働くことの素晴らしさ、喜び、厳しさについて知り、勤労観・職業観を中学生の早い時期から持つことで、将来の就職について考える機会とすることが大きな目的です。町内四中学校の二年生百二十八人が、七月三十一日から八月四日までの五日間にわたり、町内外三十七の事業所の協力のもと職業体験を行います。期間中に、スーパーや工場などいろいろな所で中学生が実際に仕事をしています。見かけたら、声を掛けるなどの応援とご協力をお願いします。

協働と参画への活動が始まっています

(茶屋隆会長) とボランティアを合わせて約千人が参加。朝六時からおよそ二時間かけて刈り払いやゴミ拾いなどを行い、草の伸びやすくなる梅雨時期を前に、河川敷など周辺をきれいにしました。



雪谷川をきれいに清掃大作戦
(地区住民、雪谷川を守る会、軽米建友会)

雪谷川を一斉清掃
雪谷川を守る会
雪谷川の河川敷とその周辺の清掃作業が六月四日、町内一斉に行われました。雪谷川沿いの地区住民で構成される雪谷川を守る会

会(南勉会長)の会員が川の中に入り、川底に引っかけたビニールや空き缶などを拾い集めました。下流域の大きな岩がある所では、重機を使いながら川底を掘り起こし、沈んだゴミも回収していました。



川の中まですっきり
二戸地方振興局、軽米建友会
午前九時からは、萩田橋から下流域にかけて、川の中の清掃も実施。二戸地方振興局の呼びかけで集まったボランティアや軽米建友



2日間で延べ70人が参加し、道づくりを行った横羽墓地利用者組合の皆さん

ユイコのケアドーで始める さらさら (結いの道づくり事業) おらほの集落づくり

「長い間町の整備を待っているより、こうしてみんなの力を出し合うことで、早く、しかもきれいに作る事ができた——」六月十七日と十八日、町道では初めてとなる結いの道づくり「ユイコのケアドー」に取り組んだ横羽墓地利用者組合長の田名部文雄さん(牛ヶ沢、六十歳)は話していました。

結いの道づくり事業は、二戸地方振興局と町が地区住民に呼びかけて、平成十六、十七年度と雪谷川沿いの管理道の整備をしました。本年度から、町道の整備にも、この「結いの道づくり」を導入し、事業名を「ユイコのケアドー事業」として、町内各地区の道づくり、地域づくりを進めていくこととしています。

道路整備には多額の経費を要することから、年間予算に限り、通常の施工ができる区間は限られています。この協働事業では、アスファルト材料に再利用したものを使用すること、整地作業などを地区民の方々からの人力で賄い、重機などの使用は転圧など必要最小限とすることで、経費が通常の四分の一程度で行うことができます。

ユイコのケアドーができるまで



①舗装部分の基礎となる面に砂利を敷いて、道路のデコボコを埋めます。



②その上にアスファルト切削材をスコップやトンボなどで均等にならします。



③ローラーで転圧を掛け平坦にした後、アスファルト乳剤を吹きつけて固めます。



④アスファルト乳剤が馴染みやすいように、表面に砂を振り掛けます。



⑤完成です

ふれあいセンター前の花壇を整備 町保健推進員協議会



草取りの後、植え込みまで行った保健推進員の皆さん

町保健推進員協議会(佐藤勝子会長、会員九十八人)の会員三十人は、六月十六日に健康ふれあいセンター前の花壇整備を行いました。平成四年から毎年実施しており、花苗約千本は同会会員が寄贈。施設の利用者らが喜ぶ姿を思い浮かべながら、一本一本丁寧に植えていました。

企業同士、行政との連携を密に 町誘致企業等連絡協議会発足



連絡協議会発足のあいさつをする高橋会長(中央奥)

町内誘致企業九社による町誘致企業等連絡協議会が発足し、五月二十六日に町役場で設立総会が開かれました。会長に高橋克佳氏(株高常ハース代表取締役)を選出。企業間同士や行政との連携・情報交換を行いながら、ビジネスチャンスの拡大、雇用の創出など探ります。

町づくりにあなたの力を生かしてください

平成19年度採用予定の町職員 一般事務職員を募集します

- 【採用職種と予定人員】
- ▼一般事務：一名
- 【採用予定日】
- ▼平成十九年四月一日
- 【受験資格】
- ▼昭和五十二年四月二日から平成元年四月一日までに生まれた方
- 【受付期間】
- ▼平成十八年七月十二日(水)から八月十五日(火)までの、午前八時三十分から午後五時まで(土日・祝祭日を除きます)
- ※郵送の場合は、八月十五日(火)午後五時までに到着のこと
- 【申し込み・問い合わせ先】
- ▼軽米町役場総務課総務グループ
- ▽郵便番号：0288-6302
- ▽住所：軽米町大字軽米10-85
- ▽電話：(46)2111内線2008
- 【第一次試験の日時と会場】
- ▼日時：平成十八年九月十七日(日) 午前九時から
- ▼会場：二戸市立福岡中学校 (二戸市福岡字川又22-1)
- 【試験内容】
- ▼一次：筆記試験(一般教養・作文)
- ▼二次：面接試験

生活安全の森 二戸警察署軽米駐在所

ストップ飲酒・暴走運転

安全運転の 徹底をしよう



★飲んだら乗らない、 乗るなら飲まない

アルコールが体の中に入ると、運転に必要な「冷静な判断」と「適正な判断力」が鈍り、平常な動作ができなくなります。

「これくらいなら大丈夫」という自分勝手な思いが、取り返しのつかない事故を招きます。

★二日酔いには要注意です

飲酒の翌日でも、体にアルコールが残っていれば飲酒運転になります。翌朝、体がだるい、体調が悪いなど少しでもお酒が残っているようなら運転を控えましょう。

★ゆとりを持って安全運転を

夏休みを目前に、海水浴や家族旅行などの計画も立てているかと思いますが、夏は開放的になり気持ちが緩みがちになります。

楽しいときこそ、心と時間に余裕をもって、スピードの出しすぎや無謀運転をしないで、安全運転を心掛けましょう。

5月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※(累計)は1月からの合計

▶町内の交通事故

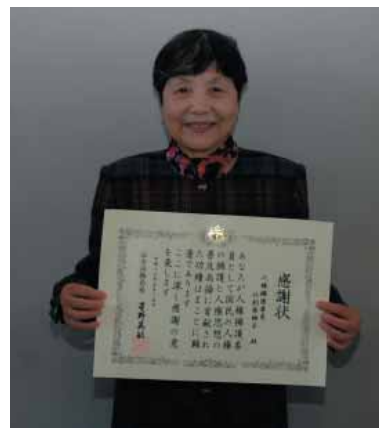
	当月(累計)	昨年比
人身事故	0件(7件)	+2
死亡者	0人(0人)	-1
負傷者	0人(13人)	+9
物損事故	7件(53件)	-13

▶救急車の出動回数

30回(149回) +13

▶飲酒運転検挙者

(行政区)	(年代)	(性別)
下谷地渡	40代	男



悩み事の解決は話しを良く聞くことから始まると話す江刺家さん

**人権擁護委員
江刺家睦子さんに
仙台法務局長表彰**

人権擁護委員の江刺家睦子さん(下河南)が、仙台法務局長表彰を受賞し、五月二十五日に盛岡地方法務局二戸支局長から伝達を受けまし

た。江刺家さんは、平成十三年二月から人権擁護委員として、特設人権相談所などで地域の皆さんからの困りごとや悩みごとの相談を受けたり、必要に応じて関係機関との連絡などを行っています。

人権擁護委員の活動について江刺家さんは「これまでいろいろな相談を聞いてきて、たいへんな仕事だなと感じながら、自分自身にとってもたいへん良い勉強になっていく。最近では、お年寄りの方からの相談が多くなってきており、これからも、悩んでいる方の話を良く聞くことを第一に心掛けていきたい」と話していました。



**横井内留次郎さん
(向川原、75歳)**

町商工会の新任会長に

五月二十六日に町商工会館で開催された軽米町商工会平成十八年度通常総会で横井内留次郎さん(向川原、七十五歳)が、新しい町商工会長に選出されました。任期は三年です。

中心商店街に賑わいを取り戻すため、物産交流館を核としたイベントの開催や、歩道の整備など、町と連携し積極的に取り組んでいきたい。また共通商品券の発行や特産品開発も進めながら、町内商工業者の魅力を高めていきたいと考えています。

皆さんからもイベントなどに大いに参加していただきながら、町全体を盛り上げて、元気で、活力ある町にしていきたい。



▲約200人が参加したゲートボール大会



▶町民体育館やミル・みるハウス前でも行われた軽スポーツ競技



▲パークゴルフ大会に参加した皆さん



▲軽米幼稚園の親子ミニミニ運動会



▶雪谷川周辺でのウォーキング大会

チャレンジデーに 6,686人が参加

軽米町では初の参加となったチャレンジデー2006が5月31日に開催され、合計で6,686人、町人口11,581人(平成18年2月1日現在の住民基本台帳)の57.7%の方が参加し金メダルを獲得。対戦相手の鹿児島県瀬戸内町の参加率41.4%を上回り、勝利を収めました。



チャレンジデーは、五月最終水曜日の午前零時から午後九時までに、十五分以上、体を動かした人の参加率を競い合う住民参加型のスポーツイベントで、日ごろから体を動かし、健康づくりにつなげることが大きな目的です。

チャレンジデーへ向けた準備・運営は、実行委員会(会

長山本賢一町長)を組織し、町体育指導委員が中心となって進められました。

チャレンジデー当日には、ゲートボール大会など町内各地で地区単位や事業所、学校、各種団体などで参加イベントを開催。参加者は楽しみながら、体を動かしていました。

参加率を競い合った対戦相手の鹿児島県瀬戸内町は、参加者四千五百八十六人で参加率四一・四割。一方、本町は五七・七割で、町民の皆さんの参加と健康づくりへの取り組みが、瀬戸内町を上回り、勝利を納めました。

今後も、日ごろから体を動かす機会をつくり、健康づくりに励みましょう。



▲集計本部に続々と集まる報告に、実行委員会会長の山本賢一町長(写真右中央)も集計経過を確認していました



【クマの目撃情報の通報先】
町民生活課(☎46-4734)

クマに遭遇してしまったら

★ゆっくりと後ずさりして離れる。背中を見せて逃げるとクマは本能的に襲ってくるので、走って逃げない

★クマとの間に立ち木などを挟むようにして逃げると、突進を防ぐことができます

★やむを得ず攻撃を受けそうになったら、すばやくうつ伏せになり、両手で首の後ろをガードしてください。

(ザックを担いでいた場合には首や背中などの急所を守るができます)

クマと遭遇しないために

★次のような状況の時には、できるだけ山に入らない

- ・夜明けや薄暮れどき(クマの行動が活発化)
- ・風の日や霧の出ている時(クマの注意が散漫になり人の気配に気づきにくい)
- ・沢や養蜂場、果樹園の近くもクマの注意が鈍ります

★遠くにいるクマや子グマを発見したら、興奮させないように慌てずに立ち去る

★大声を出したり、物を投げつけない

クマを寄せない

★家の周りに残飯や生ゴミを捨てたり、置きっ放しにしない

★屋外にコンポスト(生ゴミを堆肥化する処理機)を設置している場合には、土を被せ、蓋をしてください

クマの出没が多発 十分にご注意ください

平成18年度町消防操法競技会

魅せた火消しの心意気

平成十八年度の町消防操法競技会が六月四日、ハートフルス・ポーツランド内で開催され、町消防団（増尾俊一団長）の八分団全二十七部が日夜訓練を重ねてきた、消防操法の技を競い合いました。ポンプ自動車の部では五分団一部（蓮台野・萩田・門前・桜山）が、小型ポンプの部では二分団三部（百目金）がそれぞれ連覇を飾りました。

実際の放水を行わない「カラ操法」は今回で二回目。水上げ動作を行わない代わりに、火災現場での消火作業の基礎・基本となる動作の正確さや機敏さ、迅速な伝達動作などが二戸消防署軽米分署員により一つひとつ細かく審査

されました。ポンプ自動車の部では、五分団第一部が三年連続の優勝を果たし、小型ポンプの部では第二分団第三部が昨年度に続いて優勝しました。分団各部の総合得点の平均を競う分団賞では、第二分団が獲得しました。その他の表彰結果は、次のとおりです。



日夜訓練を重ねた成果を力強く発揮する団員の皆さん

ポンプ自動車の部 5分団1部



（後列左から）①中田雄二、③久保元、⑤澤田晶（前列左から）④門前俊男、②工藤康介

小型ポンプの部 2分団3部



（後列左から）①細谷地義和、③松本正人（前列左から）②細谷地智幸、④田中政幸

※敬称略、⑤は指揮者、○に数字は番手番号

上位表彰チーム

※○は順位、()内は行政区

- 【ポンプ自動車の部】
 ① 5分団1部（蓮台野・萩田・門前・桜山）
 ② 1分団1部（荒町・仲町・大町・本町・元屋町）
 ③ 2分団1部（河北、上河南、下河南）
- 【小型ポンプの部】
 ① 2分団3部（百目金）
 ② 4分団2部（上円子）
 ③ 8分団2部（中村・平・和当地・東）
 ④ 2分団4部（八木沢・屋敷・小玉川・市野々）
 ⑤ 6分団1部（高柳）
 ⑥ 8分団3部（新井田、大清水、駒板、東台）
- 【分団賞】
 第2分団（下館確也分団長）



昨秋の新人大会に続き優勝した小軽米ファイヤーズ

第28回町少年学童野球大会 小軽米ファイヤーズが優勝

第二十八回町少年学童野球大会が六月十七日、ハートフル球場で開催され、小軽米ファイヤーズが優勝しました。町内から五チームが参加しトーナメントで行われ、選手たちは父母らの応援を背に、全力プレーを展開しました。強打を誇る小軽米ファイヤーズは、準決勝、決勝とコールドで勝ち、三大会ぶり三回目の優勝を勝ち取りました。昨秋の町少年学童野球新人大会に続いての優勝です。

オレクタ劇団「ともしび」による町青少年劇場 いのちのバトンを心でつなぐ

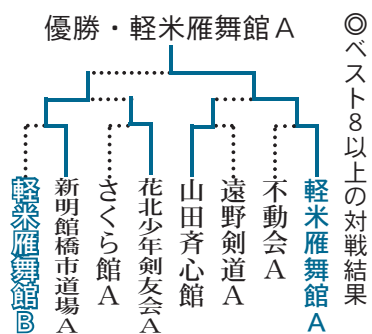
町青少年劇場が六月十三日に軽米小学校体育館で開催され、町内九つの小学校から四年生以上の児童約三百六十人が児童劇「いのちのバトン」を観劇しました。便利さと引き換えに増えていく環境破壊や公害などへの警告と、「いのち」と「死」についての考える内容に、児童はかたずを飲んで見入っていました。



「人は死んでも命は心の中に生き続ける」とのメッセージを心で感じた青少年劇場

軽米雁舞館Aが優勝 全国大会（日本武道館）へ出場

県知事杯争奪第四十五回岩手県下少年剣道大会兼第四十一年一回全日本少年剣道錬成大会県予選が六月十八日に盛岡市の県営武道館で開催され、小学生の部・団体で軽米雁舞館Aが優勝を飾りました。県内から百十五チームが参加する中、軽米雁舞館Aは順調に勝ち進み決勝では四対一と勝負強さを発揮し優勝しました。今年度出場した三つの大会全てで優勝を獲得。全国大会出場を決めた主将の坂本隆磨くん（軽米小六年）は「全国でも、優勝を目指したい」と力強く話し、さっそく稽古に励んでいました。本大会は、七月二十六日、二十七日に東京・日本武道館で開催される全国大会の予選も兼ねており、優勝した軽米雁舞館Aと、八強まで勝ち上がった軽米雁舞館Bも揃って全国大会へ出場し、全国の強豪と剣を交えます。



元気ハツラツ！町老連スポーツ大会 笹渡連合チームが連覇達成



昨年に続いて連覇を達成した笹渡連合チームの皆さん

町老人クラブ連合会（古里謙二会長）主催のスポーツ大会が六月二十七日、ハートフル・スポーツランド多目的広場で開催されました。各地区連合の四チーム、約五百五十人が参加。百メートル走や軽米幼稚園児との玉入れ、ゲートボールリレーなど十一種目で、真剣に得点を競い合い、珍プレーには笑顔もみせながら心地よい汗を流しました。優勝は笹渡連合チーム（笹渡、増子内）が獲得し、前回大会に続いて連覇を達成しました。

第28回町総体・ゲートボール競技第25回大会結果 （6月11日、町ゲートボール場）

- 【Aブロック】
 ①米田 ②円子 ③小軽米 ④増子内
- 【Bブロック】
 ①小玉川 ②観音林 ③晴高 ⑤山内
- 【Cブロック】
 ①本町 ②荒町 ③上館連合 ④笹渡

スポ少・バレーボール部の選手（女子）を募集

対象：町内の女子小学生
 練習場所：町民体育館ほか
 練習日時：平日の夕方週1日程度
 ※7月の練習日（軽米中体育館）
 16日(日)9:00～、24日(月)18:00～
 【問い合わせ先】監督・上田佳穂
 (小軽米小 ☎45-2312) まで

平成18年度岩手県知事杯争奪 第45回岩手県下少年剣道大会 兼第41回全日本少年剣道錬成大会県予選



優勝を飾った軽米雁舞館A（敬称略）
 （後列左から）長内拓、坂本将士、坂本隆磨
 （前列左から）世古誉幸、小笠原慎二

バレーボールの合同練習で 小・中・高生が初交流



小・中・高校生と一緒に練習に参加したバレーボール教室

町内の小・中・高校生合同のバレーボール教室が、六月二十一日に軽米中学校体育館で開催され、昨年発足したスポーツ少年団の児童と軽米中学校、軽米高校の女子部員約五十人が参加しました。小軽米小教諭の上田佳穂さんと町バレーボール協会員の指導のもと、高校生と小・中学生がそれぞれパートナーになって練習。体の動かし方からパスワークまでを一緒に楽しく学びました。

28年の時を懐かしむ思い出



大きなカプセルが取り出され、中から懐かしい品々が取り出されると歓声があがっていました

米田小学校（佐々木政文校長）の創立百周年を記念して昭和五十三年度に封印されたタイムカプセルの開封が五月三十日に行われ、学区民運動会が集まった地区民や卒業生二百人が当時を懐かしみました。埋設当時、同校六年年の担任だった佐々木公輝さん（盛岡市在住）や、同じく児童会長だった神山隆敬さん（蜂ヶ塚）が当時の学校生活を紹介。直径一辺ほどの大きなカプセルから図画や作文などが次々と出されると、会場からは歓声が上がっていました。

健康生活は食事から見直そう

町食生活改善推進員養成教室の開講式と第一回教室が六月十五日に、健康ふれあいセンターで行われました。受講生十三人は、開講式で食生活の大切さについて学んだ後、同推進員協議会の小笠原タヘ子会長も参加してさっそく調理実習を実施。雑穀ご飯や実だくさんの味噌汁など、栄養バランスの取れた食事の取り方や調理の方法を学んでいました。本教室は全八回開催され、調理実習を通じて、バランスのとれた効果的な食事について習得します。



受講生が3人1組になって毎回テーマの異なる調理実習に挑戦する食生活改善推進員養成教室

大自然から収穫する勤労体験



背丈ほどの大きな露を見つけては、鎌を手に汗を流した笹渡中の生徒会活動

笹渡中学校（村上四郎校長）の生徒会（鶴飼大和会長）は六月六日、地域の人たちと露の収穫を行いました。生徒は三地区に分かれて、地域の人と一緒に露を探して移動。繋ぎ服姿には鎌を持ち、太く丈夫に育った露を約二時間かけて、およそ一トを収穫しました。太さや長さで選別する方法を地域の人たちから教わりながら、収穫の喜びと勤労のたいへんさを感じていました。販売した収益金は、寄付金のほか生徒会活動費として活用しています。

花と収穫を楽しむ晴中福祉花壇

晴山中学校（福島敦史校長）が平成五年から取り組む福祉花壇の整備が六月二十六日に行われ、全校生徒が地区民らとともに学校近くの交差点周辺など三箇所、花苗のほかアマランサスとソバの種をまきました。秋に収穫するアマランサスは、来年の修学旅行で訪問予定のいわて銀河プラザ（東京都銀座）で販売する計画。本田和毅くん（三年）は「たくさん収穫し、東京では自慢の雑穀を思いっきりPRしてきてほしい」と収穫を待ちわびていました。



山本町長（中央）も晴山中生徒とともに植え込み作業を行いました

プロの生演奏に聴き惚れる

小玉川小学校（菊池敦子校長）で六月十六日、プロ音楽家の生演奏を聴くあすなろコンサートが開催され、児童や地区民など約五十人が一時間のステージを楽しみました。児童会長の鎌田聡くん（六年）が「目の前で見るのは初めて。とてもワクワクしている」とクラリネットにチェロ、ピアノの三者が繰り広げる音と演奏者の動きを真剣な眼差しで鑑賞。アンコールにも気軽に応えてくれたプロの演奏家に、会場からは大きな拍手が送られていました。



講堂に響き渡るプロ音楽家の生演奏を楽しんだ小玉川小学校の児童たち

新緑まぶしいヤイホイで賑わい



名勝ヤイホイの前で竿を手に、釣りを楽しんだヤイホイまつり

軽米駒木地区と同婦人会が主催するヤイホイまつりが、名勝ヤイホイ周辺で六月四日に開催されました。ニジマス約四百が放流された雪谷川では、親子連れなど約四十人が釣竿を手に歓声とともに次々と釣り上げたほか、続くカラオケ大会では、新緑まぶしいヤイホイを背に自慢の声を響かせるなど、春の陽気を楽しんでいました。名勝ヤイホイは、穏やかな流れを見せる雪谷川に切り立つ断崖絶壁の景勝地で、地区の憩いの場となっています。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

教育委員会事業こども体験隊6月の講座が、「身近な自然と郷土の歴史を知る」をテーマに6月10日、開催されました。参加した20人の小学生は、丸太切りや地元産ホクシン小麦を材料にしたせんべい焼き体験に挑戦。開拓当時の人たちの労苦に大きな関心を寄せていました。



丸太切りに挑戦する子どもたち

丈夫に育つ

元気に働く

健やかに老いる

こころの相談って何？

ストレス社会と言われる中で、新聞などでも心の問題が取りざたされています。年代を問わず、色々な心の病気（統合失調症、うつ病、適応障害、認知症など）に苦しむ方や、対処に悩むご家族がいらっしゃいます。心の病気は、体の病気と違い、早期から専門医の診察や治療に結びつくことがまだまだ少ないように思われます。こんなとき、利用していただきたいのが、「こころの相談」です。

毎月第1火曜日の午後に、専門医による相談を行っています。健康ふれあいセンターに本人や家族が来所されての相談、センターへ来れない場合には専門医と保健師が家庭を訪問して行う相談もできます。治療が必要かどうかの見極めをはじめ、家族の悩みを聴いたり、支援制度のアドバイスなどを行っています。“こんなことを相談するのは恥ずかしい”などとためらわず、お気軽に保健師へお声をかけてください。（x46-4111）

健康福祉課
上席主任保健師
櫻場栄子



プロフィール
【氏名】 Christopher Jones
【国籍】 イギリス
【生年月日】 1981年2月6日生 25歳
【略歴】 スタッフオーフドシア大学卒、2003年8月3日から町の英語指導助手として来町。

ジョーンズさんとお話しましょ

Umeki: Good afternoon, Jones-sensei. Have you done anything interesting recently?
梅木: ジョーンズ先生、こんにちは。最近何かおもしろいことあった?
Jones: I have. I watched the world cup – especially the England matches.
ジョーンズ: ありましたよ。ワールドカップ、特にイングランドの試合を見てました。
Umeki: You must really enjoy football.
梅木: サッカーが大好きなんだね。
Jones: Of course. I look forward to the world cup every four years. I especially enjoy it when England do well. This time I managed to watch a match almost every night.
ジョーンズ: もちろん。4年ごとに楽しみにしてるんですから。イングランドが調子いいときは特にね。今回は毎晩のように試合を見てるんですよ。
U: That's a lot. I only watched the Japan games.
梅木: すごいね。ぼくなんか日本戦しか見てないよ。
J: I watched some on those as well.
ジョーンズ: ぼくも日本戦を見ましたよ。
U: Japan didn't really do well this time. I know that Japan is not comparable with Brazil. But we lost to Australia and we could only draw against Croatia.
梅木: 日本チームは今回成績悪いんだよね。ブラジルはともかく、オーストラリアには負けるし、クロアチアとは辛くも引き分けるし。
J: Well, don't worry about it too much. You didn't perform too badly.
ジョーンズ: あまりよくよくよしないで。日本チームはそんなに悪くありませんよ。
U: Do you think so?
梅木: そう思ってくれる?
J: Of course. Not every country can be as great and wonderful and perfect as England. Don't feel bad...
ジョーンズ: もちろん。全ての国がイングランドのチームのように偉大で素晴らしいって、かつ完璧に試合できるわけじゃないんですから。そんなに落ち込まないでください。
U: ◎

我が家の人気者 あこやかさん

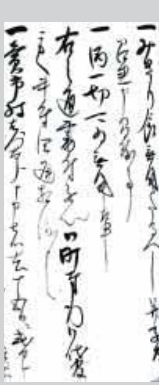


ももとり 百鳥 あかねちゃん (2歳10ヶ月)

愛称: あかね

(笹渡) 勝広さん・陽子さんの次女

去年のお祭で捕まえた金魚のお世話係りのあかねちゃんはお手伝いが大好き。おじいちゃんと一緒に木ウレンソウを収穫したり、おばあちゃんの花壇の草むしりと大活躍です。毎朝、学校や保育園に行くお兄ちゃんたちを見送りするたびに、「早くあかねも学校に行きたいよー」と七ツさまにお願いしています。



八戸藩日記

方では、米の収量は当然のことながら劣っていた。軽米一の豪農・淵沢家でも米より畑作に力を入れていた。貞享三年(一六八六年)四月廿七日(現在の五月ごろ)、藩では田植え時の禁令を出した。「田畑の草取りの時、昼寝をしてはならない。田植えの期間は、朝昼晩と粟・稗・麦などで食事をすること。握り飯は食べてはならない。田植えに子どもを連れてはならない。酒は一切飲んではならない」という禁令である。田植えは農民にとって、一年の中で農作業の大事な行事であり、大勢集まって賑々しいものであった。小屋や晩飯に飲む酒は、農作業の疲れを癒す楽しみでもあった。当時の農民は、自分たちで作った米を口にすることはほとんど無かった。後に米が品種改良され、収量が増えてくると、田植え時には田の畔で小屋や昼飯を取る風景が見られるようになった。現代は機械化が進み、お互いが助け合う「結」も薄れ、小屋の風景を見ることが無くなった。

(町古文書解読会)

古文書で見える 軽米の歴史 69

今年の気候は、初夏を迎えても北風が多く肌寒い日々が続いているが、気候不順の中でも、無事田植えが終わり、緑の葉をそよがせている。冷害にならないければ良いと、これから気にかかると毎日である。江戸時代には、軽米のように「ヤマセ」の常襲地帯にも稲作は強制されたが、地味(栽培条件)の悪い地

田植え時の禁令

夢・希望・えんぴつ



「自然大好き」

小玉川小学校

小玉川小学校六年(屋敷)

鎌田 聡

ぼくたちが毎日通っている小玉川小学校の周りには、とても大きな自然が広がっています。

全校児童二十五人のみんなも、この大きな自然がとっても大好きです。

例えば、学級ごとに川で遊んだり、地域の人に山に連れて行ってもらったり、学校の観察をしたりして、自然と触れ合っています。

去年は、この大自然の中で鉄づくりが盛んだったというのを聞いて

て、実際に「玉川鉄山」の跡地に行ってみると、調べたりしました。小玉川の歴史にもふれ、まずこの小玉川が大好きになりました。

でも最近、この自然豊かな小玉川の川にゴミが捨てられているのをよく見かけます。このまま増え続けると、魚が住めなくなってしまう。

これからは、もつと川清掃、ゴミ拾いをがんばっていきたくです。

まず一番は、ぼくたちがゴミを捨てたり、ゴミが落ちてくるのを無視して通り過ぎたり、そういうことは絶対に無くしていきたいです。

そして、ぼくたち小玉川小学校の二十五人は、自然を守るために自分たちにできることを考え、みんなの力で守っていきたくです。

今月の俳句

北光吟社五月例会句会

リラ零す香の新しき雨上り
五月雨や農の手休め琴を弾く
山吹きの咲けば豆蒨く慣ひとて
木の陰に咲いて明るしチューリップ
木下閣一人静のひそやかに
ムスカリのうすき紫あわれとも
なつかしき田植料理にもてなされ
さびれゆく父母なき里の桐の花
杖引きて春日満喫隣家まで
長梅雨の今日もやまずに農日記
あれこれと根分け植へ替へ梅雨一日

松村英子
千葉紅園
端川石造
川島由蔵
荒沢作郎
国久黄実
三上千栄女
中野とき
永井きよの
早川慶子
古里裕子

お知らせ
情報
Information



梅雨空を吹き飛ばすほどのパワーが発揮された町老連スポーツ大会で、走って



軽米幼稚園児と一緒に玉入れ競技で交流



パン食い競争も、昔取ったかねづかで難なくこなし、



最後に優勝を勝ち取ったのは笹渡連合チームの逆転劇でした

県職員の採用試験
申し込みについて

平成18年度（平成19年4月1日採用予定）の岩手県職員Ⅱ種・Ⅲ種と警察官Bの採用試験を次のとおり行います。
▶受付期間
▷インターネット…8月1日（火）から8月25日（金）まで
▷郵送・持参…8月1日（火）から8月31日（木）まで
▶受験資格
▷Ⅱ種（一般事務、栄養）
平成18年4月1日現在で19

歳以上26歳未満の方。
栄養は、栄養士免許取得者または取得見込みの方。
▷Ⅲ種（一般事務、警察事務）
平成18年4月1日現在で17歳以上21歳未満の方。ただし大卒者などを除きます。
▷警察官B
平成18年4月1日現在で17歳以上29歳未満の方。ただし大卒者などを除きます。
▶第1次試験日：9月24日（日）
【問い合わせ先】県人事委員会事務局（☎019-629-6241）

介護支援専門員を
めざす試験を実施

（財）岩手県長寿社会振興財団が実施する介護支援専門員実務研修受講試験が行われます。
受験申込書は、役場・健康福祉課または二戸地方振興局保健福祉環境部に配付します。
▶申込書配付期間
7月21日（金）から
▶受付期間：8月22日（火）から8月30日（水）まで
▶試験日：10月22日（日）
▶試験会場：岩手産業文化センター・アピオ
▶受験資格：保健・医療・福祉分野で実務経験が5年かつ日数が900日（一部、10年で1,800日）以上の方
【問い合わせ先】県長寿社会振興財団（☎019-629-2300）

者または知的障害のある方で満15歳以上（平成18年4月1日現在）の方
▶開催日：9月24日（日）
▶会場：県立産業技術短期大学校
【問い合わせ先】（社）県障害者雇用促進協会（☎019-652-8080）
危険物取扱者は3年毎に講習受講を
平成15年4月1日から平成16年3月31日までに、免状を取得

または講習を受講した方を対象とした、危険物取扱者保安講習が次のとおり行われます。
申請書は、二戸消防署または軽米分署で配付しています。
▶申請期間：8月1日（火）まで
▶講習日程と会場（全12会場）
▷9月8日（金）
久慈市防災センター
▷9月10日（日）
二戸地域職業訓練センター
▶受講手数料：4,700円
【問い合わせ先】（財）県消防協会（☎019-654-3991）

市町村振興宝くじ（サマージャンボ）は7月13日（木）発売
サマージャンボ宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに使われています。
☆発売期間：7月13日～8月1日
☆抽選日：8月11日（金）
☆賞金：1等2億円、1等前後賞各5千万円、2等1億円

各種自衛官職員を募集しています

平成18年度に募集する自衛官職員の種目と受付期間は次のとおりです。
【申し込み・問い合わせ先】自衛隊二戸募集事務所（23-2529）

種目	資格	受付期間	試験日
幹部候補生	20歳以上26歳未満	詳しくはお問い合わせください	
防衛大学校学生	高卒（見込みを含む）で21歳未満	9月8日～29日	11月11日、12日
防衛医科大学校 航空学生		8月1日～9月8日	11月4日、5日
看護学生	高卒（見込みを含む）で24歳未満	9月8日～29日	10月15日
一般曹候補学生	18歳以上で24歳未満	8月1日～9月8日	9月16日
曹候補士	18歳以上で27歳未満	9月1日～9月8日	
2等陸・海・空士		年間を通じて募集しています	
自衛隊生徒	17歳未満（男性のみ）	11月1日～19年1月9日	19年1月13日
予備自衛官補	一般の方が訓練の後、予備自衛官（非常勤）になるコース ●一般：18歳以上・34歳未満 ●技能：18歳以上で、技能に応じて53～55歳未満		

障害者技能大会
アビリンピック開催

第4回岩手県障害者技能競技大会（いわてアビリンピック2006）を開催する（社）県障害者雇用促進協会では、パソコンや木工技術など、大会への参加者を募集しています。
▶申込期間：8月10日（木）まで
▶対象者：身体障害者手帳所持

内科	休日当番医	歯科
千葉耳鼻咽喉科・小児科 （☎23-2009）二戸市	7月16日（日）	森川歯科医院 （☎23-6361）二戸市
小野寺クリニック （☎46-2822）門前	17日（祝）	窪島歯科医院 （☎23-2425）二戸市
松井内科医院 （☎33-2201）一戸町	23日（日）	ほんだ歯科クリニック （☎23-9591）二戸市
菅整形外科・皮膚科クリニック （☎23-7311）二戸市	30日（日）	国香歯科医院（石切所） （☎23-2764）二戸市
川村医院 （☎23-3252）二戸市	8月6日（日）	小野寺歯科医院 （☎33-3050）一戸町
小野寺内科医院 （☎33-2505）一戸町	13日（日）	ぼっぼ歯科クリニック （☎31-1182）一戸町

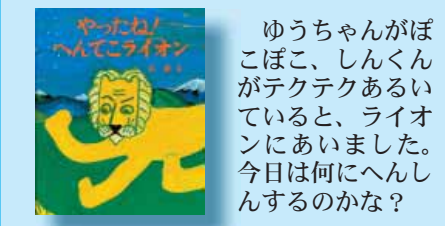
交通事故の損害賠償金のはなし
【問い合わせ先】
二戸税務署（☎23-2701）
【加害者から受け取ったとき】
交通事故などにより、被害者が治療費、慰謝料、損害賠償金などを受け取った場合には非課税です
【遺族が受け取る損害賠償金】
交通事故の加害者から遺族が受け取った損害賠償金には、所得税及び相続税はかかりません
【加害者として支払ったとき】
事業主が起こした交通事故により損害賠償金を支払った場合に必要経費として計上できるかは、業務の関連性、故意または重大な過失の有無により判定されます

町税の納期限
（7月31日まで）
固定資産税 2期
国民健康保険税 1期
早めに納付ください

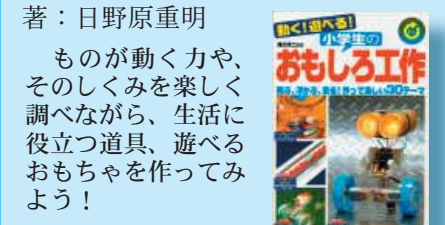
戸籍ってなあに？
【問い合わせ先】
役場・町民生活課（☎46-4735）
日本国民は誰でも日本人であるという証拠＝「戸籍」を持っています。「戸籍」には、これまでに届け出た内容がすべて書いてあり、個人の欄の一番初めには出生届（氏名、いつ、どこで、届け出た人、両親の名前、続柄など）、次は婚姻届だったり、養子縁組など。「戸籍」には、嬉しいことも悲しいことも、すべて一人ひとりの人生の大きな節目が書かれています。

図書館だより
— 今月の新刊 —

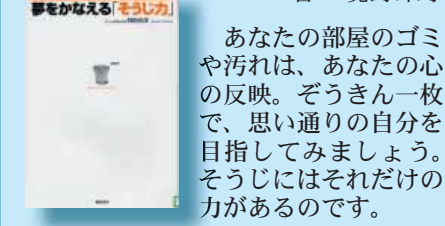
【児童書】
「やったね！
へんてこライオン」
作・絵：あきやま ただし



「動く！遊べる！
小学生のおもしろ工作」
著：日野原重明



【一般書】
「夢をかなえる『そうじ力』」
著：境野米子



「言技力」著：鈴木健二
古今東西の名言、格言などを取り上げ、言葉の力を自らの経験に照らし合わせて解説する。最も美しい日本語を話す著者からのメッセージ。

図書館利用案内
開館時間 9:00～18:30
（土、日曜は16:00まで）
貸出 1人5冊まで2週間
休館日 月曜日、月末日、祝祭日
どうぞご利用ください。

7月 July

16	日	
17	月	【海の日】
18	火	基本健診【晴山公民館】14:00~16:00、 17:30~19:00受け付け
19	水	2歳児健診【ふ】13:00~13:30受け付け H16年3月~6月生まれ対象
20	木	かっぱうぎ塾【県北青少年の家】8:30~14:30 あのなっす相談所【老】10:00~15:00
21	金	
22	土	にこにこ広場【軽米保育園】9:30~11:30
23	日	第14回ちびっ子健康マラソン【ハ】9:00~
24	月	
25	火	二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(予約 ☎23-3111)
26	水	基本健診【環】14:00~16:00、 17:30~19:00受け付け ピヨピヨ教室【ふ】10:00~12:00
27	木	うまっこ教室【ふ】9:30~12:00 あのなっす相談所【老】10:00~15:00
28	金	
29	土	
30	日	夜間と休日の納税相談【役場・税務会計課】~8月1日
31	月	町税の納期(固定資産税2期、国民健康保険税1期)

8月 August

1	火	町小学校水泳記録会【小軽米小学校】9:00~ こころの相談【ふ】14:00~15:30
2	水	姉妹町音更町子ども研修団受け入れ(~4日) 乳児健診【ふ】13:00~13:30受付 H17年9月、12月、H18年3月、5月生まれ対象
3	木	あのなっす相談所【老】10:00~15:00
4	金	かるまい夏まつり① 第5回寿大学【公】10:30~12:00
5	土	かるまい夏まつり② 第20回並岡旗争奪高等学校剣道大会【体】9:00~
6	日	町内一斉清掃の日(クリーンアップデー) かるまい夏まつり③・ナニヤドヤラ大会
7	月	
8	火	町子ども会リーダー音更町研修【音更町】(~11日) 二戸地区法律相談【二戸市役所】10:00~15:00(予約 ☎23-3111)
9	水	ピヨピヨ教室【ふ】10:00~12:00
10	木	成分献血【役場・地域整備課車庫前】10:00~16:00 あのなっす相談所【老】10:00~15:00
11	金	
12	土	にこにこ広場【軽米保育園】9:30~11:30
13	日	円子地区学童相撲大会【円子小学校】9:00~
14	月	
15	火	【終戦記念日】 成人式【環】10:00~



町文化協会の緑樹会(工藤功会長、会員10人)が主催した「さつき・盆栽展」が6月24日と25日に中央公民館で開催されました。マツヤカエデなどの鉢植え22点と水石を展示。色鮮やかな花を付けたものや立派な枝振りなどに、訪れた人は見入っていました。

冠婚葬祭 5月届出分 ＜敬称略＞

おめでた

軽米駒木 なかさと あつき 中里 篤季 (優輝)

上新町 ながい しゅな 永井 翔花 (勝義)

萩田 なかむら はるか 中村 晴香 (勝浩)

平 いどはた りゅうた 井戸畑 龍立 (昭博)

新井田 わの あいり 和野 愛里 (直人)

元屋町 たまた 玉田 しずく (浩之)

山口 なかいえ まき 中家 舞姫 (正一)

蛇口 すがわら きよはる 菅原 清春 (義仁)

向川原 かとう だいすけ 加藤 大祐 (康有)

高清水 ふるだて くうと 古館 空大 (道徳)

おしあわせに

荻谷 正人 (荻敷山)

吉田 恭子 (八戸市)

おくやみ

高清水 古館 ミヤ (83歳)

平 戸田 沢トメ (84歳)

向高家 内澤 サヨ (98歳)

車門 日山 多吉 (97歳)

横枕 古館 三郎 (78歳)

向川原 玉井 きよ (85歳)

横枕 池端 喜七 (66歳)

高家 田端 忠治 (83歳)

荒町 神山 キヨ (82歳)

仲軽米 中嶋 康夫 (75歳)

観音林南 長坂 才次郎 (88歳)

●人の動き <平成18年5月31日現在/町民生活課調べ>

男 5,648人 (-14) / 女 5,826人 (-5)
 合計 11,474人 (-19) / 世帯数 3,748 (-5)
※()は前月比
 転入 18人 (159人) / 転出 34人 (235人)
 出生 11人 (28人) / 死亡 14人 (64人)
※()は1月からの累計

(カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します)
 体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
 病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米 ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフルスポーツランド 運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場



発行/岩手県軽米町 編集/総務課
 (毎月第2水曜日発行)

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
 TEL0195-46-2111(代) FAX0195-46-2335
 URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

ほっとひといき / 編集後記
運 動会やスポーツ大会が数多く開催された5月と6月。取材のほうもチャレンジデーから消防操法、高校・少年野球など動きのあるシーンの撮影チャンスが数多くありました。
写 真で見ると分かるのが、うまい選手、強い選手たちの動きはフォームが美しいこと。同じように一生懸命な表情にも、風景写真などとは違った躍動感が伝わり、心魅かれる。広報用として使えるのは数少ないのが残念だけど、懲りずに、良いシーンを狙っていきたい。(義信)